

# 物流・製造の現場課題を解決する 新プロダクトについて

2025.6.30

パナソニック コネクト株式会社

**Panasonic**  
**CONNECT**

# Agenda

1. はじめに
2. 新サービスおよびエコシステムについて
3. パナソニック コネクトとの協業で広がる  
未来の物流ビジョン
4. 新サービスデモ
5. 質疑応答

# 登壇者紹介



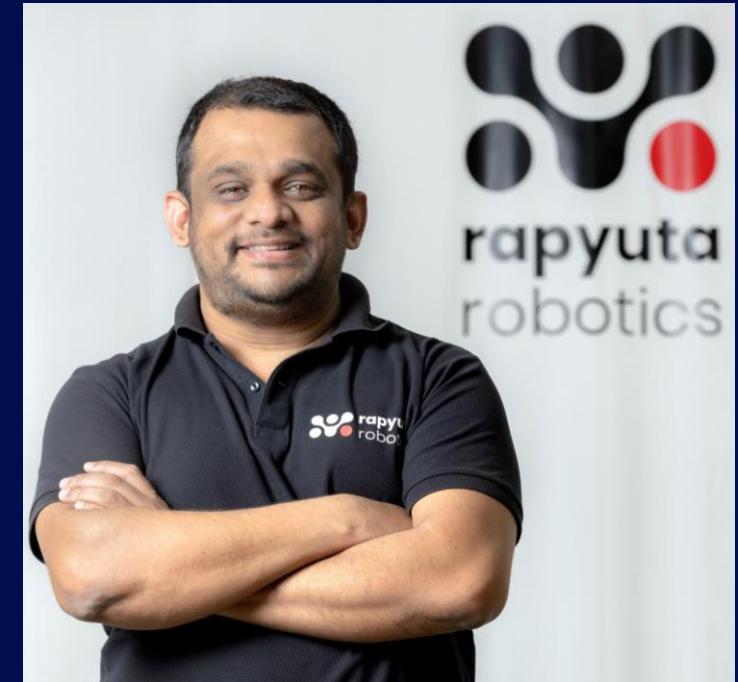
パナソニック コネクト株式会社  
シニア・ヴァイス・プレジデント  
CTO マネージングダイレクター

**榎原 彰**



パナソニック コネクト株式会社  
SaaSビジネスユニット  
ダイレクター

**牛島 敏**



ラピュタロボティクス株式会社  
代表取締役CEO

**モーハナラージャー・  
ガジアン 様**

# パナソニック コネクトの国内SCM事業コンセプト 「現場から始める全体最適化」

計画領域

製造データ

物流データ

流通データ

実行領域

造る  
製造

運ぶ  
物流

売る  
流通



# パナソニック コネクトの国内SCM事業コンセプト 「現場から始める全体最適化」

計画領域

製造データ

物流データ

流通データ

ロボットの現場導入サービス

実行領域

造る  
製造

運ぶ  
物流

売る  
流通



# Agenda

1. はじめに
2. 新サービスおよびエコシステムについて
3. パナソニック コネクトとの協業で広がる  
未来の物流ビジョン
4. 新サービスデモ
5. 質疑応答

# パナソニック コネクトの国内SCM事業コンセプト 「現場から始める全体最適化」

計画領域

製造データ

物流データ

流通データ

ロボットの現場導入サービス

実行領域

造る  
製造

運ぶ  
物流

売る  
流通



実現したい世界観

現場課題を解決するCPS技術を中心とした研究開発を推進

BlueYonder

Blue Yonder Platform  
現場データの統合・全体最適化

製造データ

物流データ

流通データ

その他現場データ



AI

サイバー空間

CPS技術



フィジカル空間  
(現場)



デジタルツイン



シミュレーション



ロボティクス

# パナソニック コネクト R&D部門グローバル体制

主要4拠点に約400名が在籍、研究開発からSaaS事業化まで一貫した取り組み

## グローバル



### ヨーロッパR&D

- ・欧州キーカスタマーとのPoC開発と実施
- ・欧州グループ会社への事業貢献



### ドイツ研

- ・AI先進領域の研究開発
- ・欧州グループ会社とのAI領域での連携



### ベトナム研

- ・クラウドソリューションのオフショア開発拠点



### Blue Yonder

- ・BY顧客接点を活かしたシナジー創出
- ・BYとのジョイントソリューションの推進



### シンガポール研

- ・アジア市場むけPoC機能
- ・現地アカデミアとの連携

## 日本国内

本社  
東京・浜離宮



### 大阪・京橋



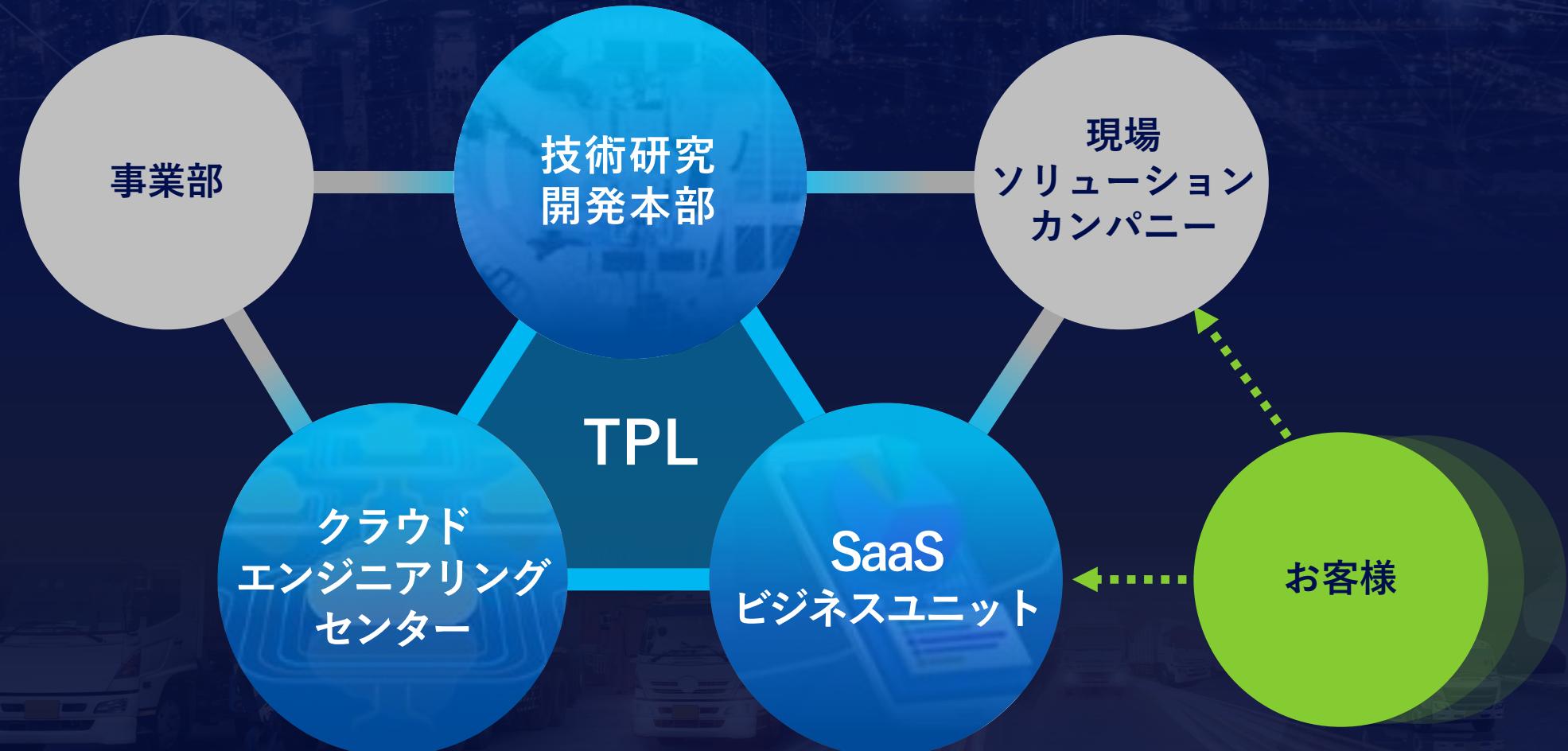
### 横浜・佐江戸





Technology Product Line(TPL)による事業探索

グローバル研究開発・共創活動からSaaS事業化までを一気通貫で推進



# Connect Idea Forge

社内外パートナーとの共創の場をオープン  
横浜拠点



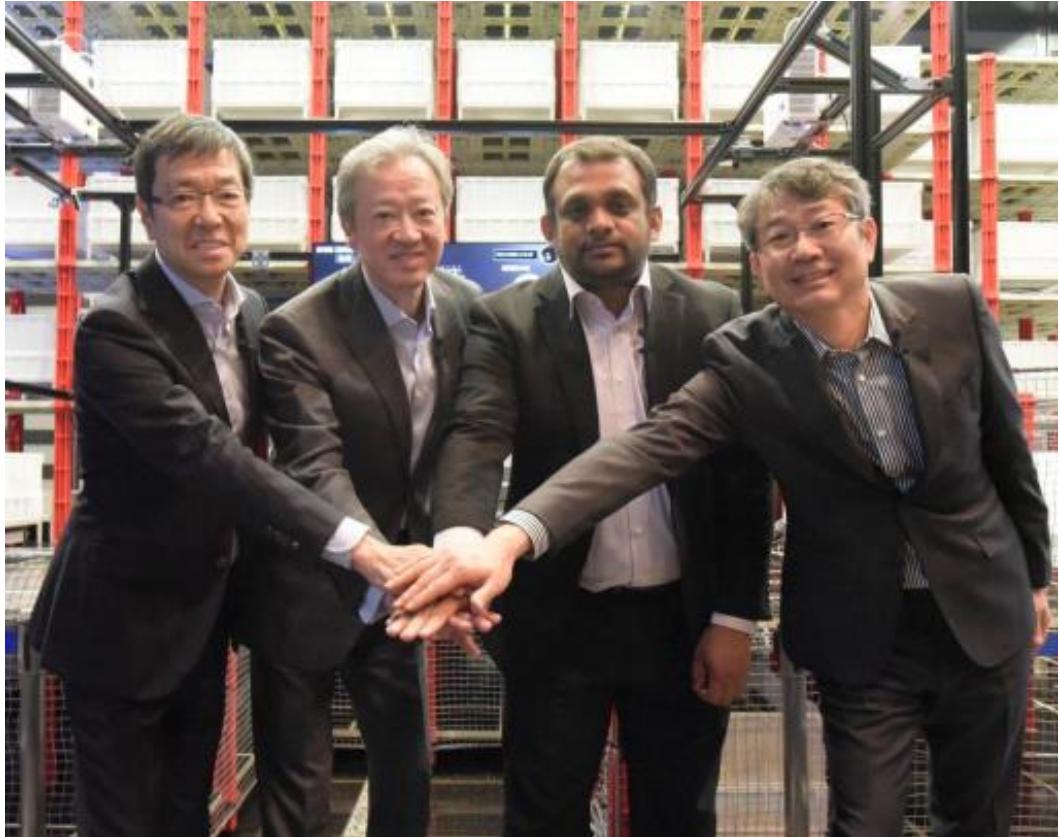
2024年3月8日

# ラピュタロボティクス社との戦略的パートナーシップ

Panasonic  
CONNECT

「物流課題を解決する新技術」の記者発表会  
ラピュタロボティクス社との共同開発スタートを発表

rapyuta  
robotics

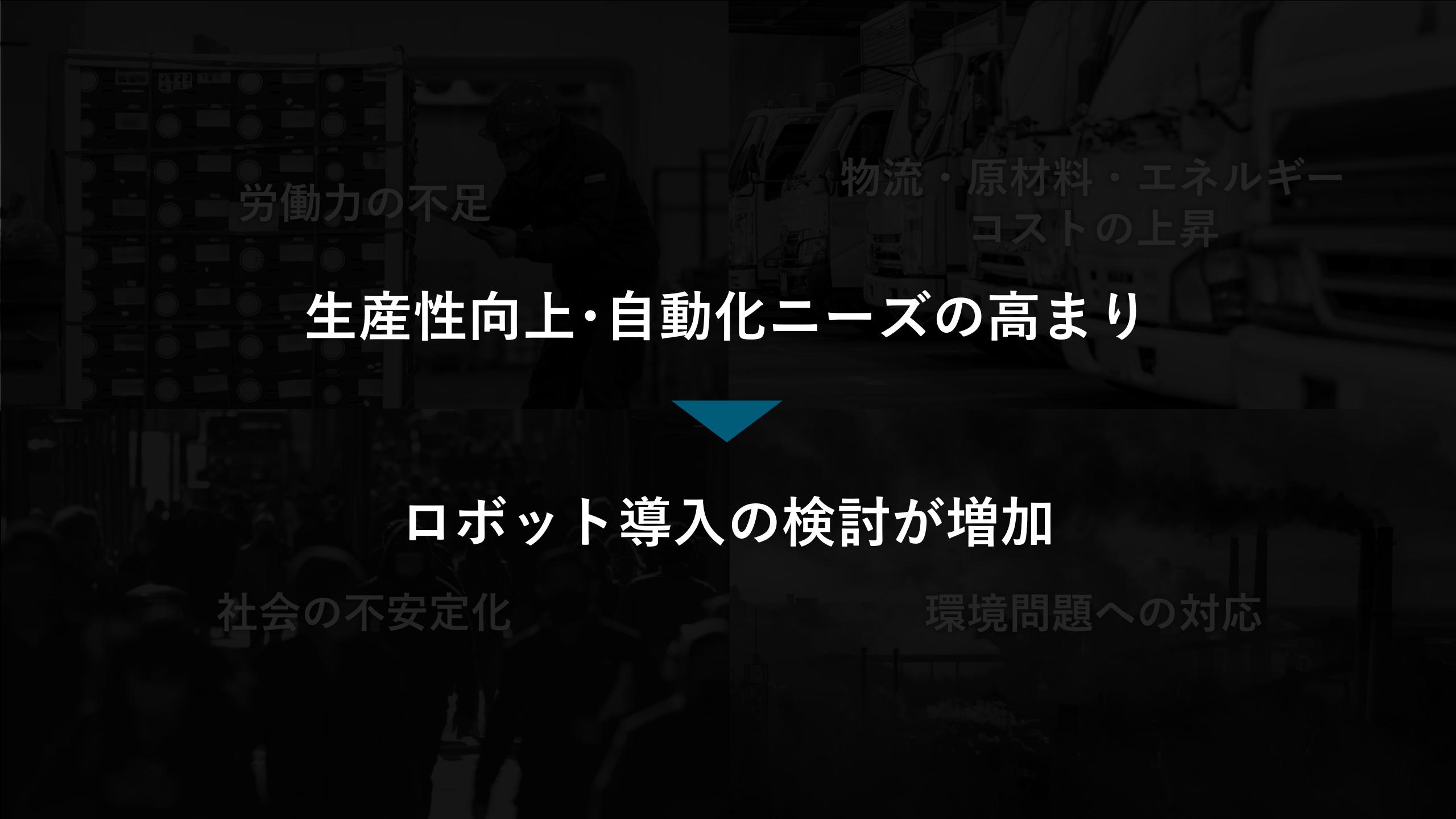


# Agenda

1. はじめに
2. 新サービスおよびエコシステムについて
3. パナソニック コネクトとの協業で広がる  
未来の物流ビジョン
4. 新サービスデモ
5. 質疑応答



# サプライチェーンの複雑化・高度化



労働力の不足

物流・原材料・エネルギー  
コストの上昇

生産性向上・自動化ニーズの高まり



ロボット導入の検討が増加

社会の不安定化

環境問題への対応

# 自動化に向けたロボット導入・事業拡大の障壁

## 企業やロボットSIer、双方にハードルが存在



### ロボットを導入したい企業

▲リテラシー・経験値の観点  
ロボットに関する知見の不足や情報格差

▲費用の観点  
導入による経営効果が不明確

▲人材・スキルの観点  
導入後に変更や保守ができる人材がない



### 導入を支援するロボットSIer

▲顧客要件の観点  
オーダーメイドの案件や  
推進中の要件変更が多く、数をこなせない

▲標準化の観点  
企業体力や顧客との契約による制約で  
パッケージ化や横展開が困難

▲人材・スキルの観点  
人材不足・若手エンジニアの育成

# 自動化に向けたロボット導入・事業拡大の障壁

## 企業やロボットSIer、双方にハードルが存在



### ロボットを導入したい企業

▲リテラシー・経験値の観点  
ロボットに関する知見の不足や情報格差

▲費用の観点  
導入による経営効果が不明確

▲人材・スキルの観点  
導入後に変更や保守ができる人材がない



### 導入を支援するロボットSIer

▲顧客要件の観点  
オーダーメイドの案件や  
推進中の要件変更が多く、数をこなせない

▲標準化の観点  
企業体力や顧客との契約による制約で  
パッケージ化や横展開が困難

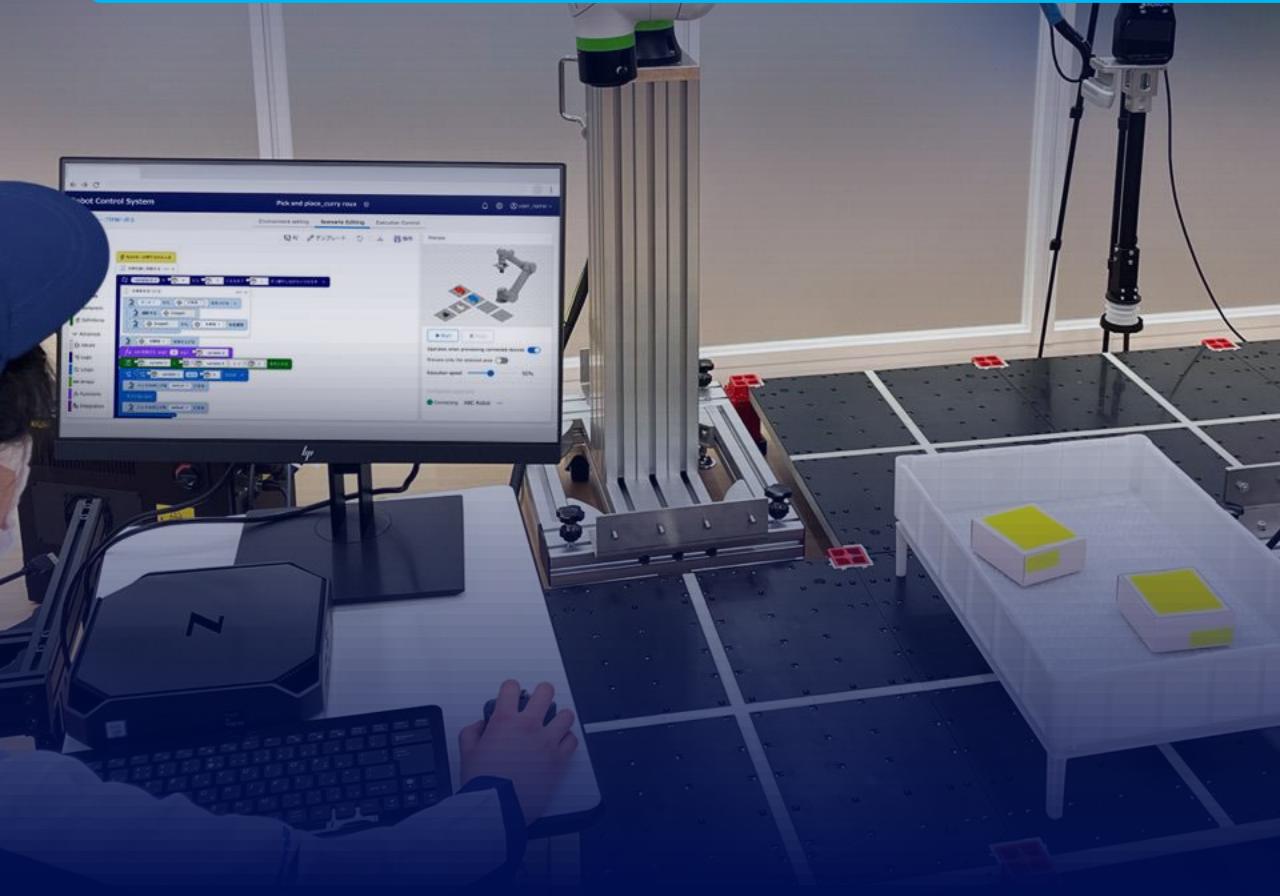
▲人材・スキルの観点  
人材不足・若手エンジニアの育成

# 自動化に向けたロボット導入を促進する新プロダクト



## ロボット制御プラットフォーム

UI・ツールを用いて、簡単にロボット導入や様々な機器の一括制御を可能に



2025年10月 提供開始予定

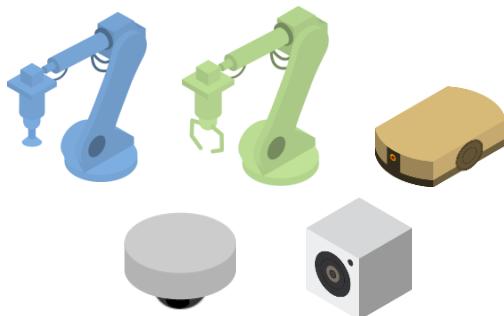
# 「ロボット制御プラットフォーム」とは

## 様々なメーカーのロボットや機器を簡単に一元制御可能とすることで ロボットSlerと導入希望企業、双方の導入ハードルを下げる

### 特長①

マルチロボットメーカー対応

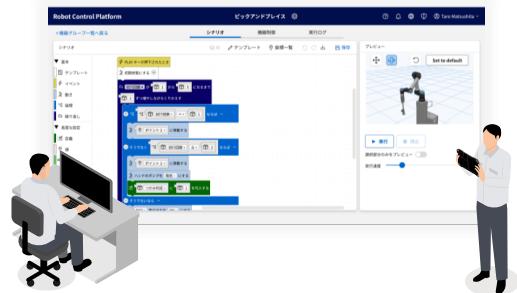
様々なメーカーの  
ロボットや機器を一元制御



### 特長②

ビジュアルプログラミング

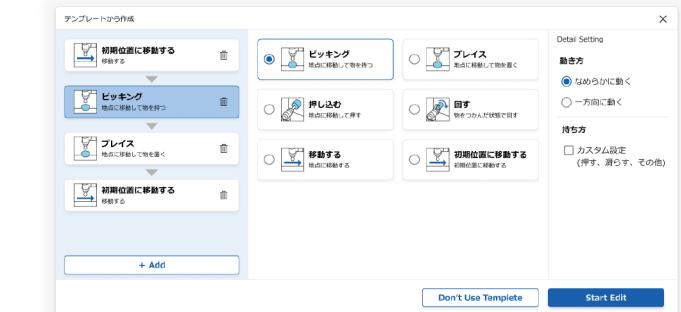
ブロックの組合せで  
ロボットの動作を簡単作成



### 特長③

標準設定テンプレート

主要な動作が組込まれた  
テンプレートで、用途変更や  
新たな用途への展開が容易

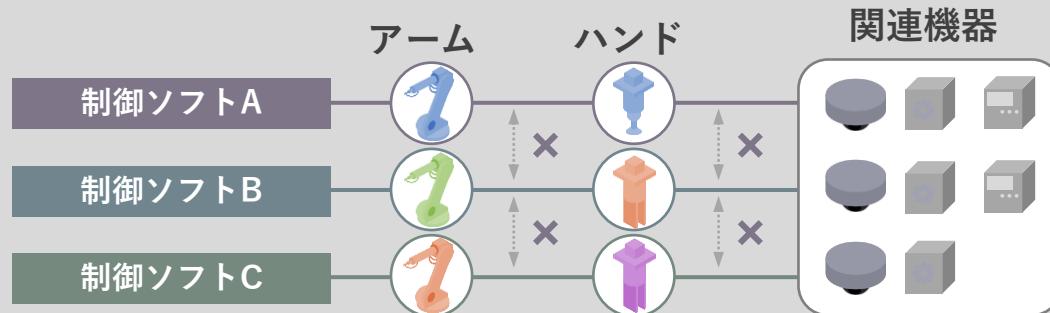


## 特長 ① マルチロボットメーカー対応

様々なメーカーのロボットや機器を一元的に制御可能

### Before

- △ メーカーごとに異なるソフトウェアの操作必要
- △ ロボットの変更コストが高価

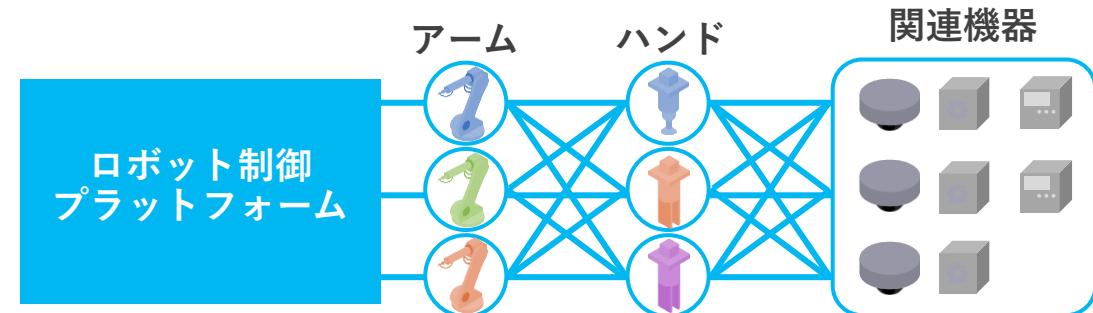


- △ スキルの属人化 → 限られた件数



### After

- ◎ 同じインターフェースで一元制御可能
- ◎ 別ロボットへの変更も容易に



- ◎ スキルの平準化 → 多くの件数に対応



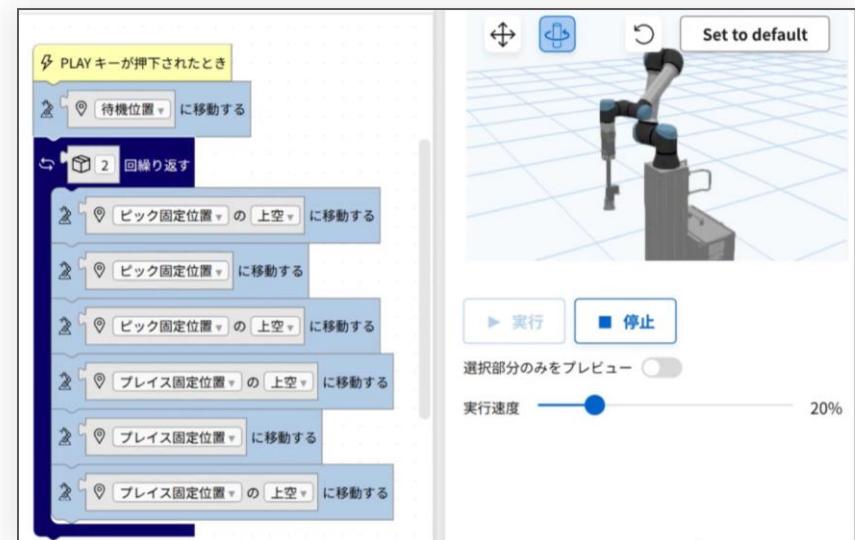
## 特長② ビジュアルプログラミング

ブロックの組合せで、ロボットの動作を簡単作成

動作や検出など、機能ごとに  
分かれたブロックを組み合わせて  
簡単に動作作成



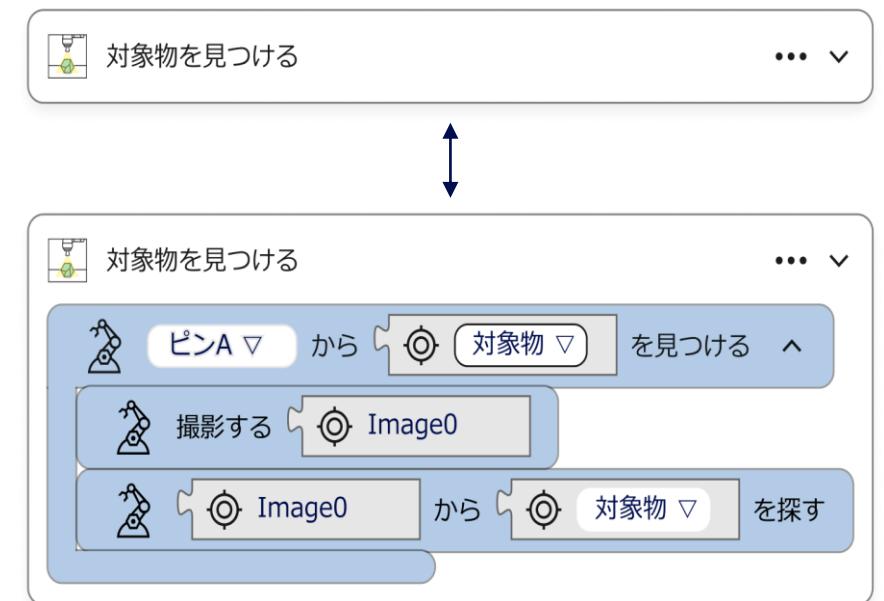
ロボットと周辺設備を再現した  
プレビュー上で、動きを確認しながら  
簡単に動作作成



## 特長③ 標準設定テンプレート

主要な動作が組込まれたテンプレートで用途変更や展開が容易

代表的な動作は、ブロックが既に組み合わされたテンプレートブロックとして使用できる



# ロボット制御プラットフォームのターゲットと取り組む意義

ターゲット



産業用ロボットではなく  
協働ロボットや搬送ロボットに対応

取り組む意義



新たな用途や機能などを  
自社の拠点で試すことで導入スピードを加速



協働ロボットを持たないニュートラルな立場だからこそ  
多くの製品に対応



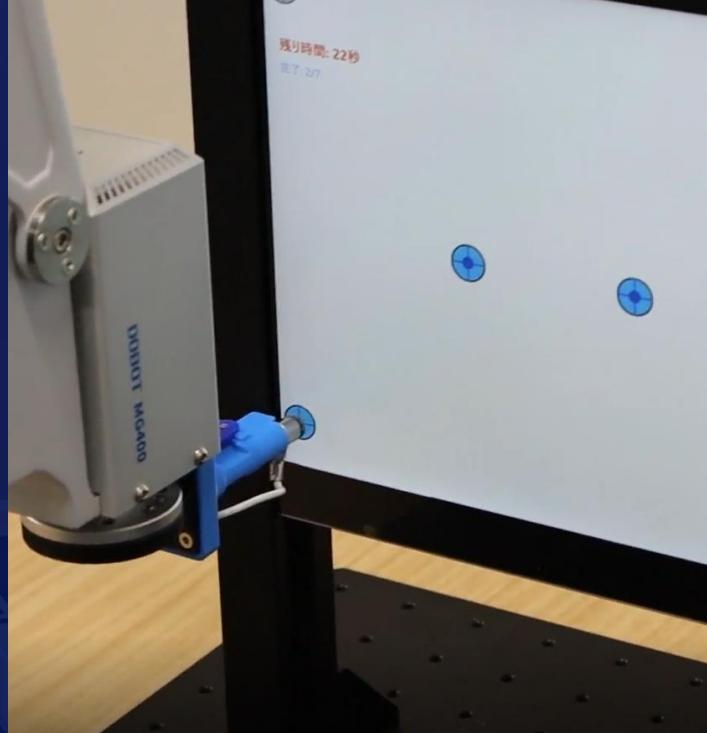
Blue Yonderなど上位システムとのシームレスな連携  
によってSCMの全体最適を実現

## 社内導入事例

# ロボットを早期導入、パナソニックグループの6拠点で活用中



ラベルの貼付工程  
(神戸工場 Let's note)



タッチパネルの精度検査工程  
(業務用製品)

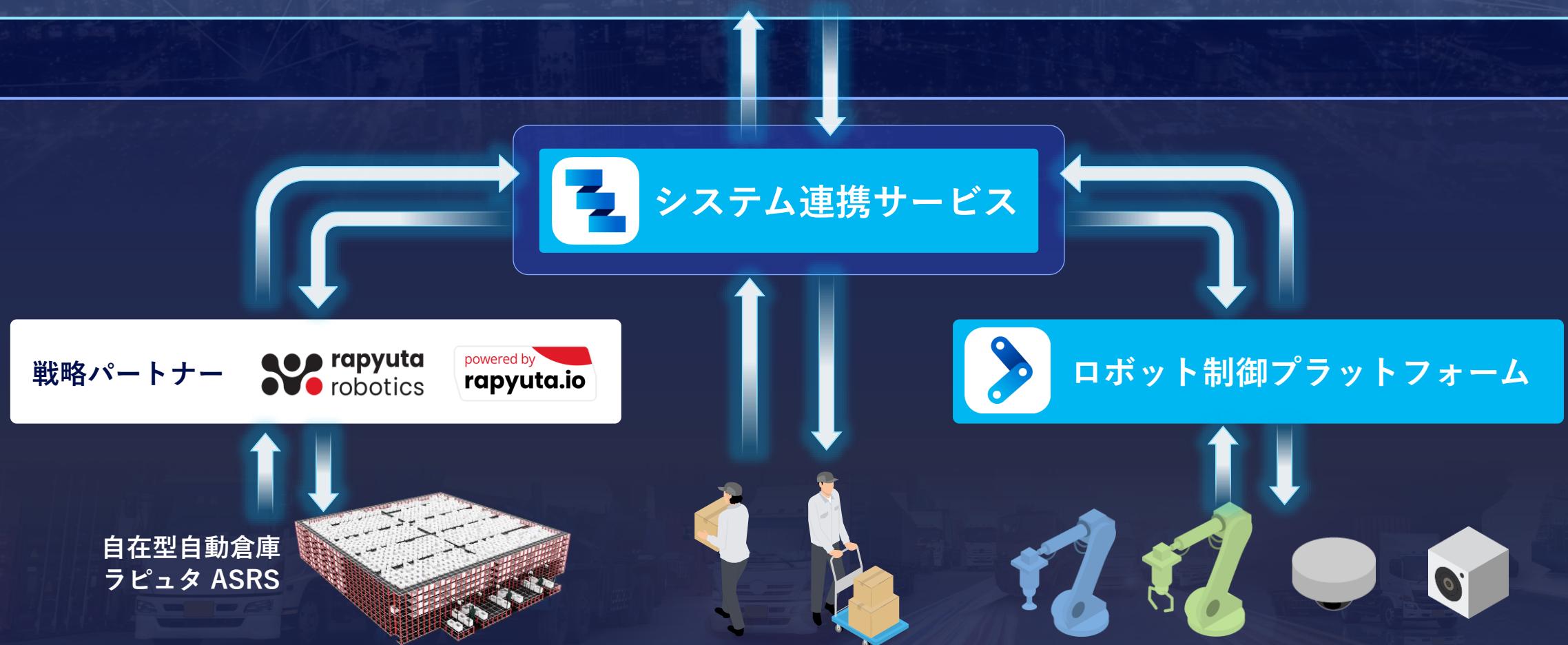


部品の梱包工程  
(コンシューマー製品)

更なる高度化を求めるお客様へ

BlueYonder

## Cognitive Solutions for Execution (次世代サービス)



# フレキシブルな組み合わせ 自動化の内容にあわせて柔軟にシステムのスケールアップが可能



# ロボット制御プラットフォームのパートナー・エコシステム パートナー 12社との具体連携がスタート



システム連携サービス

2025年10月 提供開始予定



ロボット制御プラットフォーム  
UI・ツールを用いて、誰でも簡単に  
ロボットを導入。様々な機器を一括制御



戦略パートナー



本プラットフォームと接続する  
ロボット機器メーカー



株式会社 T-ROBO

オリックス・レンテック



ミカサ商事株式会社

ロボットSeller・販売  
パートナー

パートナー連携を  
さらに拡大

# 将来のサービス強化について 残存する障壁を解決するサービスも提供予定



## ロボットを導入したい企業

▲リテラシー・経験値の観点  
ロボットに関する知見の不足や情報格差

▲費用の観点  
導入による経営効果が不明確

▲人材・スキルの観点  
導入後に変更や保守ができる人材がない



## 導入を支援するロボットSler

▲顧客要件の観点  
オーダーメイドの案件や  
推進中の要件変更が多く、数をこなせない

▲標準化の観点  
企業体力や顧客との契約による制約で  
パッケージ化や横展開が困難

▲人材・スキルの観点  
人材不足・若手エンジニアの育成

# 将来のサービス強化について

## 自動化可否および投資対効果を可視化するサービスを開発中 (仮称) 工程自動化支援サービス

INPUT

現状の運用について質問に答えると

ワーク／部品情報

作業エリア情報

作業／タクト情報

オペレーション情報

OUTPUT

自動化可否と投資対効果がすぐにわかる

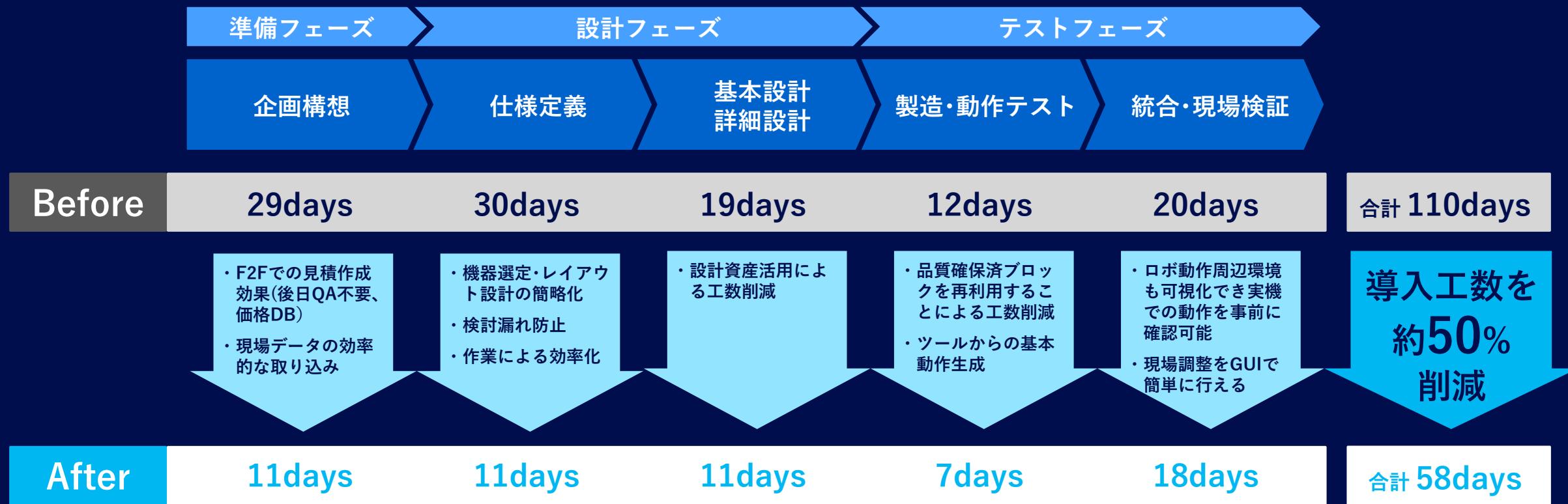
総合評価



顧客やロボットSlerの  
自動化検討や経営判断  
を支援

## 社内導入効果の実例（ロボット制御プラットフォーム+工程自動化支援サービス）

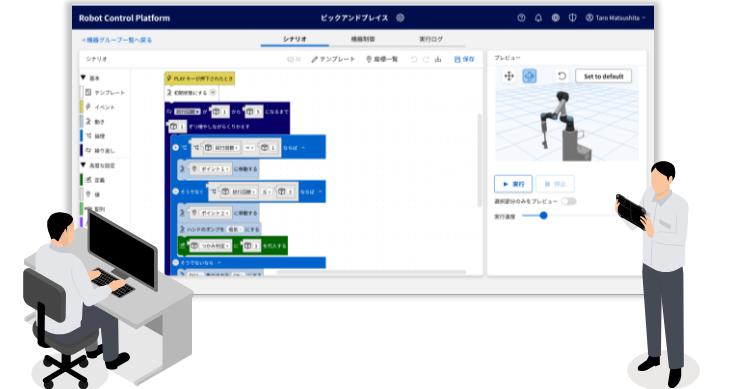
ロボット導入工数を約50%削減  
企画から実稼働までのリードタイムを半減することで現場自動化を加速



# 将来のサービス強化について

## 生成AIを活用する自動プログラミング機能も開発中

### ロボット制御 プラットフォーム



2025年10月：商用版  
提供開始予定

### (仮称) 工程自動化支援サービス



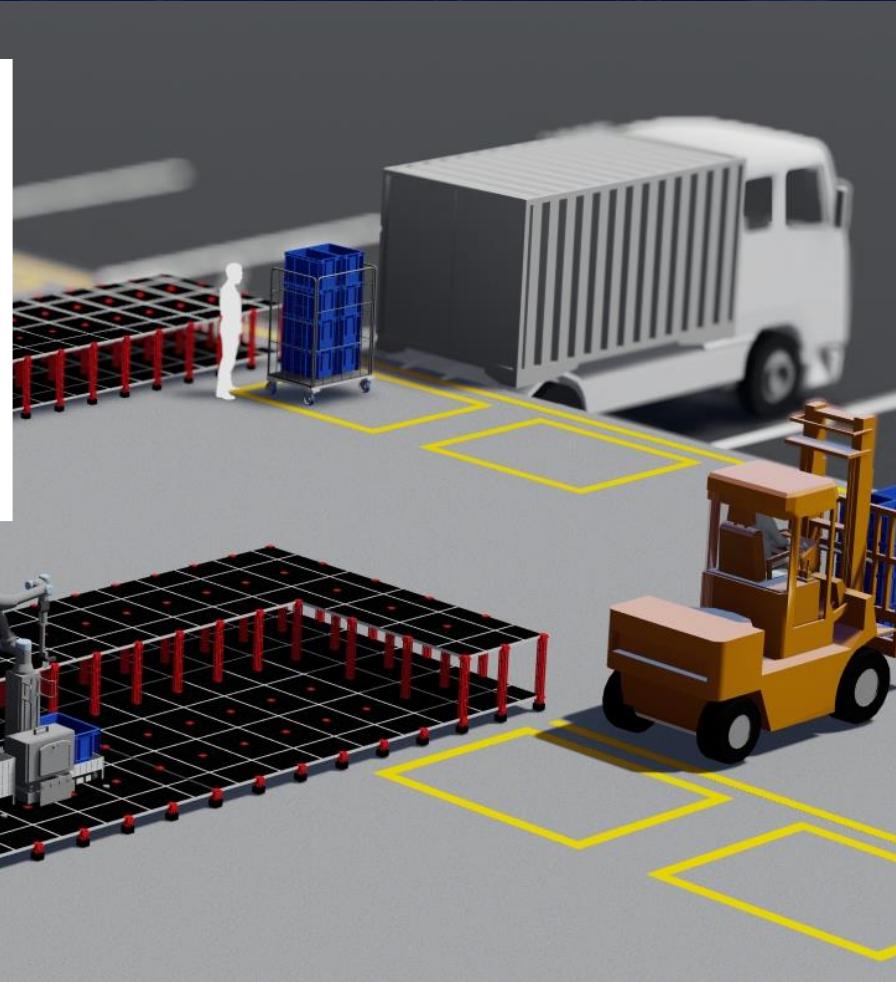
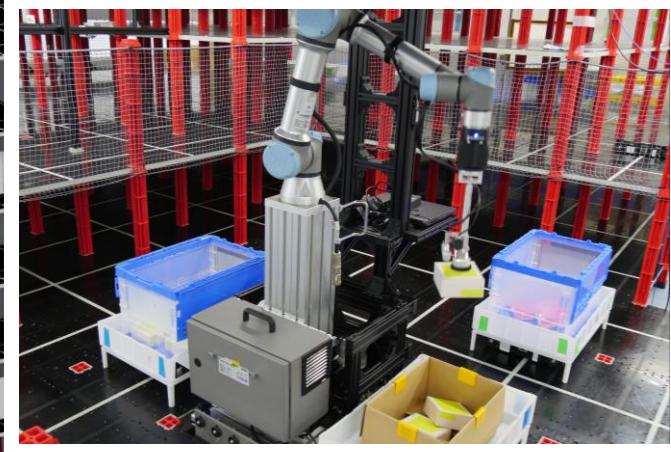
2025年10月： $\alpha$ 版 (先行評価版)  
提供開始予定

### 生成AIによる 自動プログラミング



開発中

# ラピュタロボティクス社との共同開発・マーケティング 人ピッキング作業の自動化に加え前後工程との同期による最適化



戦略パートナー

Panasonic CONNECT



Panasonic CONNECT



ロボットメーカー

2025年10月  
提供開始予定

# Agenda

1. はじめに
2. 新サービスおよびエコシステムについて
3. パナソニック コネクトとの協業で広がる  
未来の物流ビジョン
4. 新サービスデモ
5. 質疑応答



# パナソニック コネクト との協業で広がる 未来の物流ビジョン



モーハナラージャー  
ガジャン

代表取締役 CEO  
ラピュタロボティクス





# Making Robots More Accessible

ロボットをもっと身近に。人にやさしいロボティクスを。

5

東京・大阪等  
世界5拠点

250+

弊社で働く  
従業員数

34

世界34か国籍  
の従業員

700+

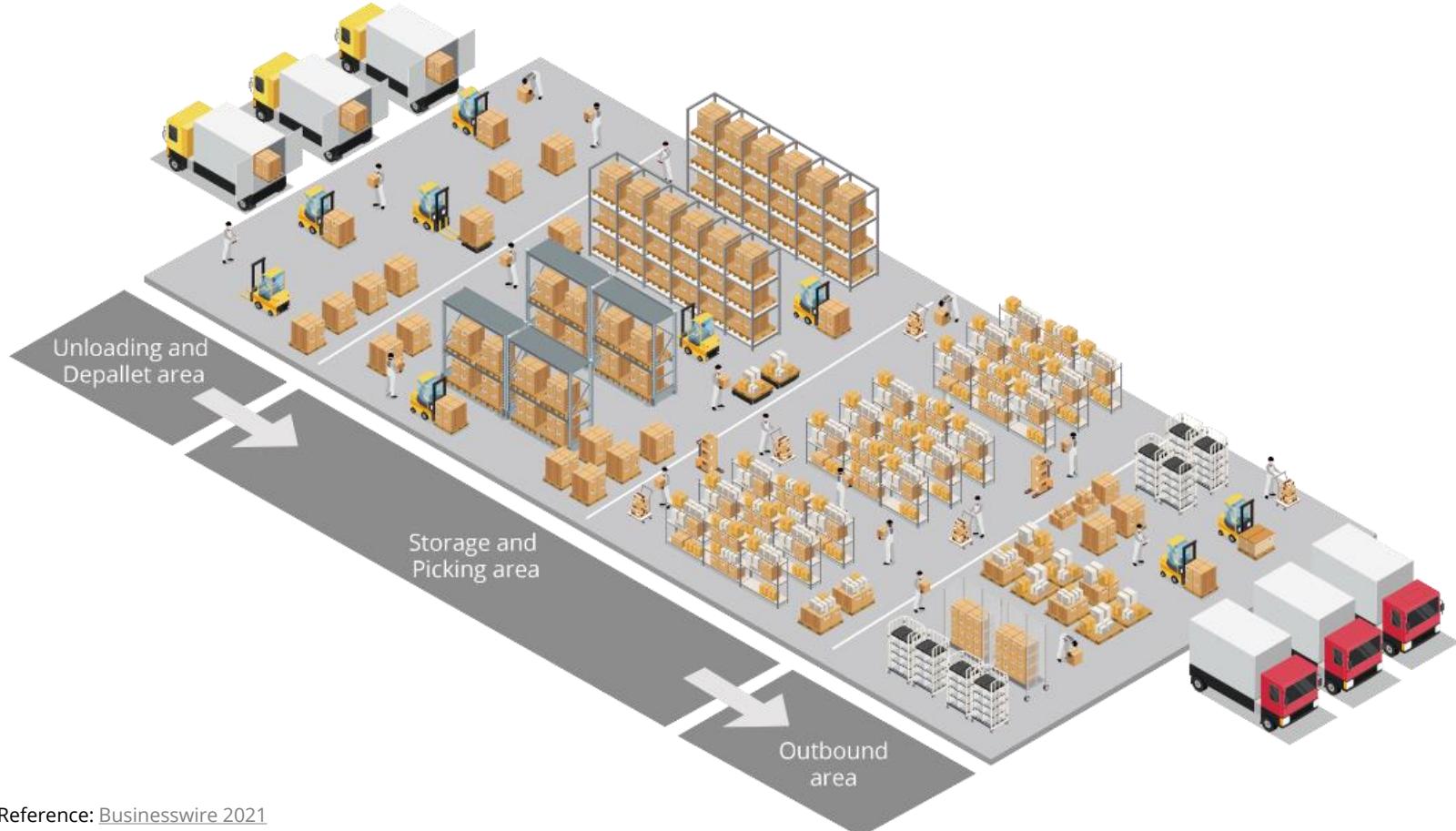
稼働中の  
ロボット数

56%

全従業員中  
技術者割合

# 倉庫内作業の課題点

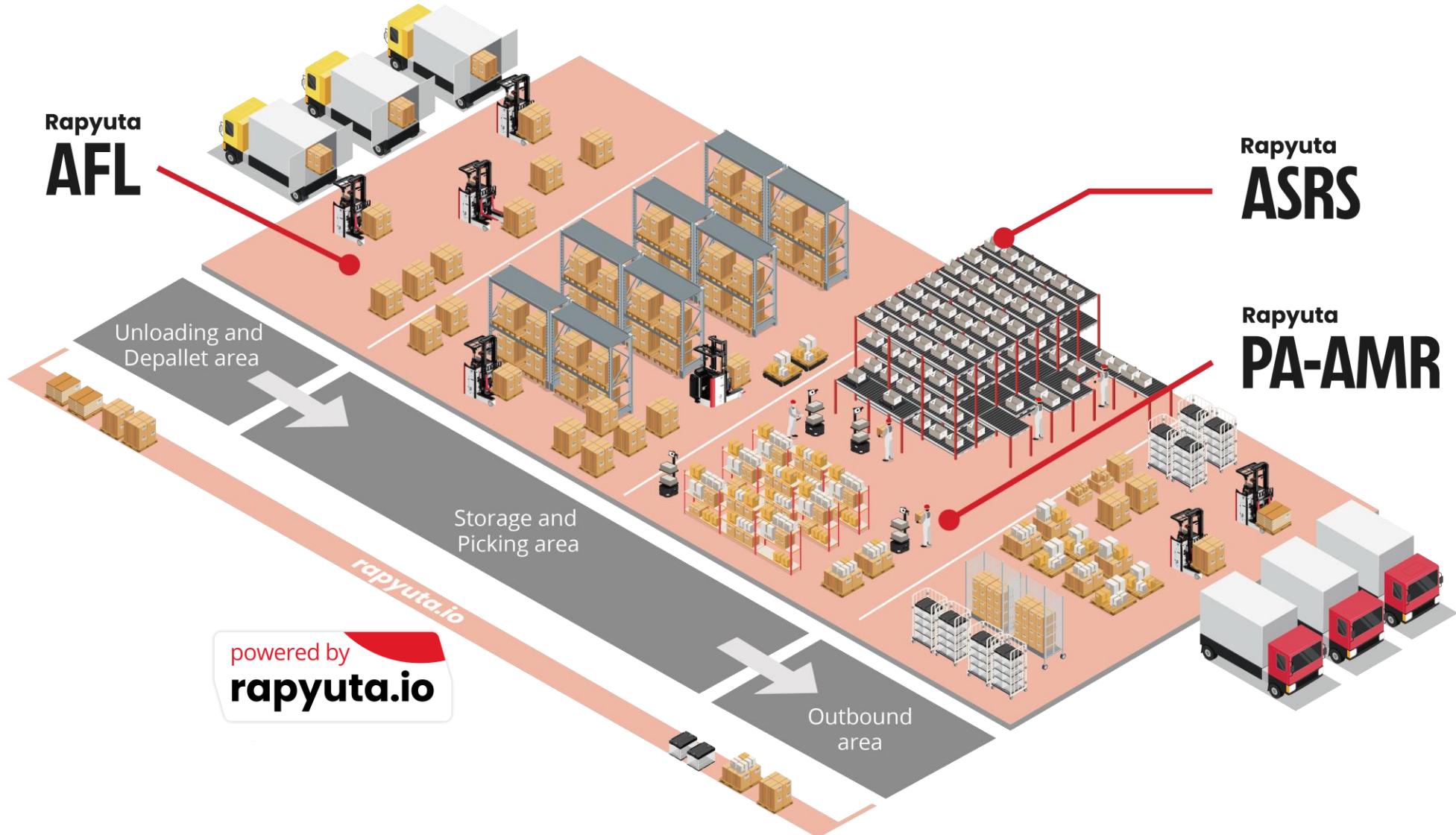
1. 物流倉庫の作業のほとんどが手作業に依存している。倉庫における作業の約80%は一切自動化されておらず、高度な自動化技術を活用しているのはわずか5%\*。
2. 手作業やマテハン機器による作業は、変化の激しいコロナ後の“VUCA”の時代に適さない



# VUCA



# ラピュタロボティクスのソリューション



# 自動倉庫が解決する課題

歩行時間の割合

77% 以上

空間的なロス

70% 以上



# 新規倉庫だけでなく既存倉庫にも

「自在型」自動倉庫で柔軟性と生産性を両立





# 自在型自動倉庫 ラピュタASRS

導入効果まとめ

定量効果

\*生産性

最大

10倍

\*保管効率

最大

2.5倍

\* マニュアルピッキング（一般的な軽量棚の空間容積率13% / 1時間当たり60行/人）との比較

定性効果

業務効率化  
業務標準化

“誰が作業しても同じ”

設備投資  
リスク最小化

“変化に強い”

# 採用事例も続々増加

2023年8月営業開始より現在**16社**決定済 (2025年6月時点)



## 製造業



株式会社ジェーイーエル  
生産ライン用途

近日発表  
**国内総合電機**

生産ライン用途

## 文具・書籍



日本出版販売株式会社  
書籍：倉庫用途

近日発表  
**国内文具等卸**

卸売倉庫用途

## 卸・小売・EC



株式会社ホビーリンクジャパン  
玩具：倉庫用途



株式会社Rise Up  
コンタクトレンズ：  
倉庫用途

近日発表  
**国内食品**

食品倉庫用途



株式会社アルプス物流  
倉庫用途

近日発表  
**外資3PL**

アパレルEC倉庫

近日発表  
**国内運輸**

日用雑貨倉庫

## 3PL

近日発表  
**国内3PL**

パート  
倉庫

近日発表  
**国内3PL**

パート  
倉庫

近日発表  
**国内物流**

パート倉庫

近日発表  
**国内物流**

日用品倉庫

# Agenda

1. はじめに
2. 新サービスおよびエコシステムについて
3. パナソニック コネクトとの協業で広がる  
未来の物流ビジョン
4. 新サービスデモ
5. 質疑応答

# 本日のデモについて

## デモ ①

### 共創パートナーとの共同ソリューション



## デモ ②

### ロボット制御プラットフォーム

「ロボット制御プラットフォーム」とは

様々なメーカーのロボットや機器を簡単に一元制御可能とすることで  
ロボットSIerと導入希望企業、双方の導入ハードルを下げる

特長①  
マルチロボットメーカー対応

様々なメーカーの  
ロボットや機器を一元制御



特長②  
ビジュアルプログラミング

ブロックの組合せで  
ロボットの動作を簡単作成



特長③  
標準設定テンプレート

主要な動作が組込まれた  
テンプレートで、用途変更や  
新たな用途への展開が容易



「現場から始める全体最適化」で

お客様とともに  
日本企業のSCMを変革



パートナー様との協業で  
ロボット産業全体を盛り上げる



Panasonic  
**CONNECT**